

平成28年度行政評価 事務事業評価シート(平成27年度実績)

事務事業コード	030301010	予算コード	01023000	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B	
事務事業名	家庭児童相談室運営事業		正規職員数	1.45	国庫支出金	0	有効性	B	児童虐待を見守るネットワークである泉佐野市要保護児童対策地域協議会の充実を図るため、その専門部会として平成26年度周産期支援部会、平成27年度教育支援部会の設置に取り組んできた。今後ともこのネットワークの連携を充実させ、「居住実態の把握できない児童」への対応など新たな課題にも引き続き取り組んでいく必要がある。	
担当課	子育て支援課		嘱託職員数	2.9	府支出金	0				
根拠法令等	市単独事業		臨時職員数	0	市債	0	効率性			B
	■法律・政令・省令 ■要綱・要領		歳出(千円)	0	その他	0	妥当性			C
	児童福祉法 児童虐待防止等に関する法律 家庭児童相談室設置要綱		人件費総額	24,126	一般財源	24,790	妥当性	C		
					減価償却費	0				
					事業費	664	受益者負担	該当なし		
事務事業類型	運営事業		フルコスト(千円)	24,790	緊急性		A	事務事業実施内容		
実施手法	市直営		市民1人当たりコスト(円)	246	公的関与		A	児童に対するいじめや虐待等の防止及び保護や生活指導に努めることができた。要保護児童対策地域協議会の連携を図るための児童虐待防止のマニュアルが完成。平成27年10月に教育支援部会を設置。		
対象	活動指標		H27実績		実施主体・委託化		A			
特定の市民	対象数	4510	相談日数	246.0	他の事務事業との関連		A			
子育てに不安を抱えている家庭等	相談件数		4,510.0	成果指標	H27実績		B			
事業の内容	福祉事務所内において、フリーダイヤルを設置し、電話相談或いは面接等により児童虐待相談、保健相談、育成相談など児童に関する相談受付を行っている。		岸和田子ども家庭センターの相談件数	520.0	透明性					
	子どもの見守りのネットワークの調整機関として泉佐野市要保護児童対策協議会との連携を図り、児童虐待の防止・相談を行う。		相談件数(市)	4,510.0	財政健全化計画		該当なし			
					財政健全化の取組		該当なし			
					改革改善プラン達成度		該当なし			
事業の目的	児童に対するいじめや虐待等の防止及び保護を目的とし、生活指導を行う。		コスト指標	H27実績						
			相談1件あたりの事業費	5,497.0						